

為來三叔長  
明定十三年  
庶事力竭  
德高年深  
玉堂之海  
知事無誤  
記多海

<http://www.jacar.go.jp/>

世 系

**アジア歴史資料センター**  
Japan Center for Asian Historical Records  
<http://www.jacar.go.jp/>

採

遠西より来りて  
見たり。信事は  
遠西より来りて  
見たり。信事は  
遠西より来りて  
見たり。信事は  
遠西より来りて  
見たり。信事は

0104

[illegible]

0105

お歩之趣可相心得事

明治十四年一月廿七

板橋長

庶務課  
徴兵課  
武学課  
軍法課  
通商課  
治安課  
板橋長  
法政課  
法政課

省

2022.12.12

第三種 陸軍

實價より大減

支那

右、清金、西、以、里、金、乃、英、蘭、銀、中、  
正、金、銀、之、概、算、ラ、記、載、シ、之、般、算、中、  
銀、之、於、中、以、外、金、銀、之、般、算、中、  
概、算、中、以、外、金、銀、之、般、算、中、

支那、金、銀、

以、以、十、金、年、丁、日、金、

銀、金、

銀、

銀、金、

工部局  
會計  
帳簿  
多  
手

0109

明治十四年一月二十九日

法教規矩勤事武溫庶  
外作告室桑法善兵務  
耕得得得得得得得得  
井上

振務局長

**アジア歴史資料センター**  
Japan Center for Asian Historical Records  
<http://www.jacar.go.jp/>



素の明るるに  
 和の字に上  
 ちの字に上  
 及の字に上

但年亦未及也。書年二字始  
知子之自了。云云。

十三年丁亥

六、由「東」至「實」

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

卷之四

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

0113

書



加十卷号

書籍互紙之付：外申迄

南海需用之書籍是迄参謀本部ヨリ  
省用致之為要之故子染目録ニ通リ  
致返紙後為旨無事ナリ也

水兵隊長

明治十四年  
一月廿二日

陸軍少佐馬場素彦

総務局長

陸軍少将山沢武雄殿

0116

[illegible]

附錄

0117

書籍目録

|             |    |          |
|-------------|----|----------|
| 一歩兵教典       | 一冊 | 詔方一七六四号  |
| 撰兵論         | 一冊 | 詔方一五〇三七号 |
| 一歩兵操典方二版    | 五冊 | 詔方五九九六号  |
| 一重訂堡障畧典     | 三冊 | 詔方五九九八号  |
| 一歩兵内務書方二版附録 | 一冊 | 國方九八七七号  |
| 一武政表        | 二冊 | 國方六八四号   |
| 一法創彙纂       | 三冊 | 國方九八七六号  |
| 一法創彙纂系      | 三冊 | 國方四二二三号  |
| 一政守畧説       | 三冊 | 和方一九〇号   |
| 一政守畧説       | 三冊 | 和方五〇号    |
| 一陳中必推乃      | 一冊 | 和方三二二号   |
| 一西洋軍制       | 二冊 |          |

|          |       |
|----------|-------|
| 一 徵兵規則附錄 | 三冊    |
| 一 仙國徵兵律  | 四冊    |
| 一 陸軍日典   | 二冊    |
| 一 陸軍之法令  | 二冊    |
| 一 李國徵兵令  | 一冊    |
| 一 徵兵規則書  | 八冊    |
| 一 令義解    | 十冊    |
| 一 仙蘭西民法  | 十一冊   |
| 一 職官志    | 六冊    |
| 合計部數二十一  | 冊數七十五 |

0119

# 洋書目録

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 一 魯國徵兵令書<br><small>仙才四〇四五号</small>    | 一冊 |
| 一 徵兵布令書<br><small>仙才四五三七号</small>     | 全  |
| 一 仙國徵兵書<br><small>仙才四五三九号</small>     | 全  |
| 一 軍隊徵兵規則<br><small>仙才四五八五号</small>    | 全  |
| 一 法國軍隊徵募考察<br><small>仙才六二〇五号</small>  | 全  |
| 一 陸軍士官官日誌<br><small>仙才六二二〇号</small>   | 全  |
| 一 徵兵及國軍編制須知<br><small>仙才六二九七号</small> | 全  |
| 一 陸軍徵兵目的、原因<br><small>仙才六一九六号</small> | 全  |
| 一 海軍兵學辭書<br><small>仙才四二〇五号</small>    | 二冊 |
| 一 仙語辭書<br><small>仙才三四八九号</small>      | 一冊 |
| 一 仙和辭典<br><small>仙才三四号</small>        | 全  |
| 一 ベナール辭典<br><small>仙才三八九〇号</small>    | 全  |



高知縣房長より直轄  
 市名に之を以て且蔵罷後、人若水事  
 多る過、中より身、中より人若  
 若落差出、之より修、個、長、母、歩、石  
 古、所、事、有、之、者、如、之、也  
 明治十四年一月七日

証達課長

能登郡安土村内直彦

査  
 査  
 査





昔御毎月金額諸耗所の残多敷  
之通るを以て後世に成るべき事  
也

正平 記すに御也

一月先より 陸軍少将の位に在り 後

総水白第150号

陸軍少将の位

陸軍少将の位に在り

陸軍少将の位



東京市役所

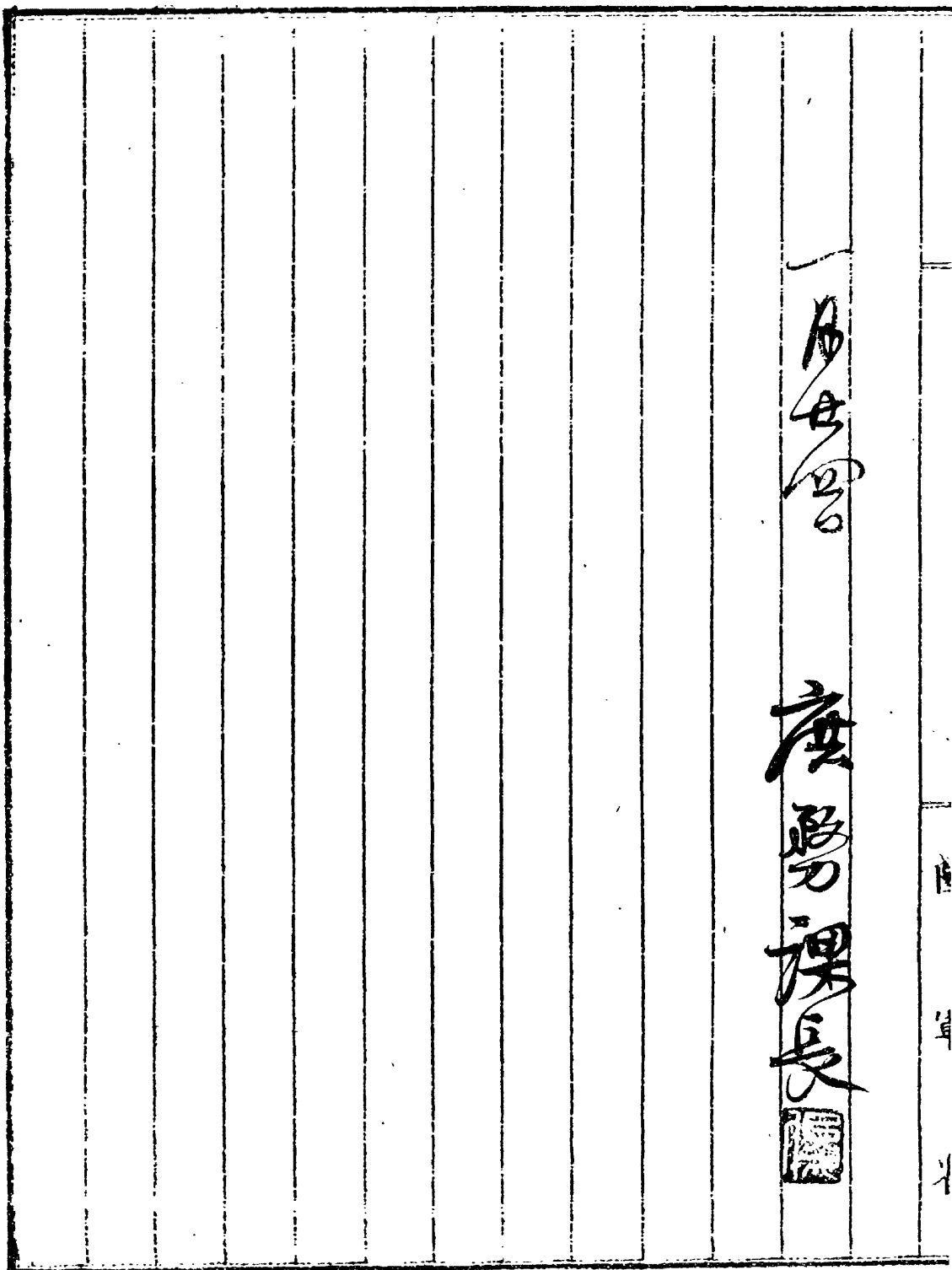
[illegible]

帝長壽祝嘏昭雲

丁巳仲夏

十二月廿一日奉 樞密部軍用二處信

隊、此隊之節事、是の井と、電線、一條架つて、  
勢、いふ、要、雨、水、の、井、と、通、り、踏、上、つ、柱、立、つ、電、柱、を、拔、  
去、或、は、電、線、を、切、断、し、せ、し、者、之、夫、し、力、を、深、敷、不、に、通、  
属、し、い、の、井、と、通、り、し、者、之、を、お、し、や、い、不、お、さ、し、に、  
其、々、可、罰、な、し、と、通、り、し、旨、向、度、を、使、し、の、無、く、操、り、  
綿、旁、道、と、之、の、井、と、通、り、し、者、之、を、お、し、や、い、不、お、さ、し、に、



0127

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

何第...

左以官... 人... 表... 初... 家... 付... 申...

左以官... 表... 編... 官... 系... 之... 為... 四... 年... 三... 年...  
三月... 年... 一... 月... 文... 武... 官... 等... 現... 在... 該... 籍...  
表... 詢... 裝... 仕... 之... 付... 之... 成... 之... 由... 了... 處... 要...  
以... 是... 所... 在... 外... 之... 地... 上... 申... 仕... 之... 也...

教... 長...

四... 年... 一... 月... 廿... 九... 日... 上... 等... 官... 仕... 秋... 月... 新... 之... 所...

總... 長...

陸... 軍... 少... 將... 武... 雄... 殿...

別紙

左記各會計部ノ現在表ニ添付ス

並ニ所又表

以表ニ添付ス者之有出入用ニ有  
之武官現任該部表ニ添付ス者  
月之六日附記ス付表ニ添付ス者  
亦同表ニ添付ス

明治三十四年一月二十九日

0129

一書り

おれ會計年伊多銀次海有能く教へては長添中  
之様もあつて存に段備成一の物有る方とて通牒  
せしむるなりと申す也

會計年長、直勝衆

おれ會計年伊多銀次海有能く教へては長添中  
之様もあつて存に段備成一の物有る方とて通牒  
せしむるなりと申す也

一月二十九日 庶務課長

金 庫 目





萬曆十一年

犯罪者之内明文多之非軍、從軍記章無一  
 時物全換否以何之義存之見  
 犯罪者之内重多古改官よりなる中、以  
 文多之非軍、從軍記章無一  
 之義以十三年中陸軍之古改官、以何  
 成以重多ハ毎犯罪人、就中何ハ重多  
 軍事記章より越之趣方より左より通更、以  
 何ハ成後以何ハ通更、以

萬曆十四年一月七日

萬曆十四年得長

萬曆十四年



四

後田敬忠外一名禁獄ノ刑ニ當ラレ  
物重按否ニ義キヤ

和歌山殿士額

物重拾五回

元陸軍長官後田敬忠

高知殿士額

口

元陸軍長官病卒務督殿勸

又之者共西面ニ没方勢依リ  
ノ通物重五回ニ付道方ありしを  
其以前國事犯、非ズニテ後田敬忠ハ禁  
獄ニ十日務督殿勸ハ禁獄七回ノ多  
ク、若クハ後物重ハ少ク、或ニ方

0135 0134

四

後田敬忠外一名禁獄ノ刑雷ラレ  
物重按否ニ義キヤ

和歌山殿士額

物重拾五回

元陸軍少将 後田敬忠

高知殿士額

口

元陸軍少将 病卒 後田敬忠

久之者共西面ニ没方也

時十二年 敬忠

之通物重キキキ付キ方アリキキキ

其以前國事犯、非ズモテ後田敬忠ハ禁

獄六十日 後田敬忠ハ禁獄七十日ノ重刑

アリキキ 後田敬忠ハ少何キキ 敬忠

0135 0134

其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、  
度、何公昭宗、其以子年三月及六月、  
其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、

太政官、何公昭宗

懲役一年、其刑、其以子年三月及六月、  
其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、

然、其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、

其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、

其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、

其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、  
其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、  
其初、何公昭宗、其以子年三月及六月、

御心算より記帳せしむる方々何れなるべき  
以て取らるべき

0137



江戸参府

日記

探

四月二日 意見

江戸参府の御式を御覧に  
て道々参府の御式を御覧に  
て道々参府の御式を御覧に  
て道々参府の御式を御覧に

江戸参府

江戸参府

江戸参府の御式を御覧に  
て道々参府の御式を御覧に  
て道々参府の御式を御覧に  
て道々参府の御式を御覧に



## 結

卷一

佐人君高橋有基等より同六月廿二日  
 東主方より七枚ある書状を傳へられた  
 ことには、是より二日の前、江島より  
 西へ飛来したるものなるに、銀板ありて  
 佐人君の御名あり

一母

廣啟乃長

0141



豫備軍後備軍服級中北海道へ移住之者取極之  
ぬぐい

吾等も豫備兵及び後備兵ノ中北海道へ移住又ハ全ク寄  
留之者住居有之者又該地之ぬハ陸道由途ノ交通不便ニ  
シテ又之ヲ移居スヘキ友軍若シテ偏シテ後備兵ハ非  
常ニ之ヲ有リ容易ニ付米等ノ難ハカニシテ又軍服級  
中ノ者ハ其移住ヲ禁セザルヲ得ス然レモ北海道ニ之ぬハ改定  
考ラ開拓強民ヲ急務トセラルノハ其地ニシテハ其移住  
ヲ禁ムルモ支障有之且該地ノ中未タ地ヲ行ハカニ地  
寄留之者ハ其地ニ移住之特別ニ考メ之ぬ付豫備後備  
軍中後備中該地移住之者ハ其地ニ改行未行ノ地ノ間ハ  
仙臺法出ノ要理ニ及ビ戦時或ハ非常ノ日其地ノ

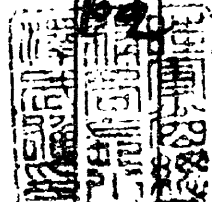
毎斗室創ノ復智民其ハ事ヲ極端ヲ振振ナク多  
津中於此照今あるお居いにお伺也

沼路高長

昭和七年二月七日

陸軍少将小澤武雄

陸軍少将 山 田 茂



伺之通

一月十日



軍中秘九年

矢、第七五號房長、迫衛馬、參謀長、照會、紫  
迫、兩、第五、號、ヲ、以、テ、申、請、在、此、其、陸、軍、出、長  
少、佐、知、識、兼、治、ト、送、金、最、初、種、隊、下  
附、あ、午、也、日、金、種、に、法、裁、名、字、台、上、部、を、  
ア、ト、ト、片、案、以、由、上、以、通、課、あ、部、後  
此、故、乃、以、照、會、也、  
壬午一月十四日

軍法課長

陸軍省

[illegible]

陸 軍 省

0146

寛政十一年

参第ハ二号裁判所日報房長ヨリ  
文庫局へ後援案

勲七等 齋藤美意  
其ノ者ニ至リテ三日ノ間ニ勲位ヲ授ケ  
被仰付ノ事ハ人ノ知ル所ニ至リテ勲位  
ノ事ハ收奪ノ上ニ於テ勲位ノ事ハ  
細々條々ニ事由アリテハ及ビ  
不

明治四年一月十七日

勲七等 保長



勲第千二十二号



參第一六九号教導團照會陸軍卿より賞勲局

總裁御移牒案

一 七等勲章

壹個

右、陸軍歩兵軍曹後藤末八郎本月一日外出先  
ニ於テ遺失致候三付拂下相成度旨願出候趣其筋  
より申出候間前書より通以拂下相成以様致度此  
般申進候也

陸軍卿

明治三十四年一月廿一日

勲章課長

陸軍卿



[illegible]

陸軍

0150

探

約

多分一七五碑方長々四巻案

本月初日付リ士官ト士父ト母ト各各に休

ハサ儀ニ付テハ多ク趣了家内ナ

クモリト通一ニテウヤト存スル及ハ其ヤ

ノコトナリナ

寺法親長

寺法親長

0151

